

令和4年度

盛岡医療福祉スポーツ専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和5年3月

令和4年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡医療福祉スポーツ専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和5年3月30日

学校法人 龍澤学館

理事長 龍澤 正美

自己点検・自己評価実施日 2023年3月30日(木)

1. 学校の教育目標

- 1 専門分野の知識と技術を正確に習得する
- 2 社会人としてのマナーを体得・実践する
- 3 生命に対する尊厳を養い、真の優しさを身につける

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1 多職種連携授業の本格的実施

- 2 退学者(率)の防止と減少について、継続して取り組む。退学率3%以下を目標とする。

- 3 卒業生を対象としたセミナー、意見交換会の全学科実施に向けて継続して取り組む。

- 4 業界の経営者団体、職能団体等との連携をより深め、学校全体が社会資源の一機関として地域の医療・福祉に寄与する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などHPに掲載しているが、どの程度ご理解いただいているのか把握できていない。より高みを目指した教育活動にご協力いただくためにも、理解を深める機会を設ける必要性を感じている。	
改善策	教育目標の説明・掲示、保護者への季刊紙発行は継続して取り組む他、コロナで中止していた入学式後の保護者ガイダンスを復活させ、周知徹底を図る。さらに、業界のニーズに合った目標となっているかについては、教育課程編成委員会外部委員に協力を仰ぎ、適宜確認を重ねていく。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	教育活動の情報については、学校法人として組織化された広報部担当者による情報発信が多くなった。そのため、イベントや特殊授業のスケジュール共有をより明確に行う必要性が出てきた。また、有事を想定し、これまで紙ベースで保管していた書類のデータ化も加速させていく。	
改善策	teamsを活用し、スケジュール調整や内容把握に努める。情報システム化については、データのクラウド化を目標として定期的に進捗状況を確認し、確実に実行できるよう進めていく。	

(3)教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	リアクションペーパーについては、学生・教職員ともに定着し一定の効果が見られるが、一方で科目数が多い学科は保管場所、返却時期等の意見が上がった。	
改善策	リアクションペーパーの書式を変更し、ペーパーとしての機能は継続し改良を重ねていく。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	退学者防止については、本校を会場とした相談室開室を継続し、カウンセラーの他スクールソーシャルワーカーも配置するなど強化している。しかし、理由は様々で退学者の提言が難しい状況。進路選択のミスマッチを防ぐ意味でも、職業理解ができる機会を増やす必要がある。	
改善策	退学者防止については、相談室の活用を促しつつ相談機関と連携を図り、学生生活がよりよいものとなるよう引き続き取り組んでいく。職業理解の一環として、卒業生の社会的な活躍からキャリア形成までイメージできるように本校パンフレットに「卒業生キャリアストーリー」というコーナーを設ける。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	卒業教育の一環として、主に社会福祉学科卒業生に対して通信教育部社会福祉士コースの国家試験対策講座の案内をしているが、昼間部卒の国家試験受験者の全数把握ができていない。また、既卒者専用のHPサイトがないため、住所変更者に各種案内が届けられないケースがある。	
改善策	既存の住所録やLINEでのやりとりに限界があるため、HPに専用サイトが設けられるよう取り組んでいく。また、日々の情報発信で使用しているInstagramやHP内のニュース&トピックス欄を活用し、卒業生への支援を積み重ねていく。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
課題	設置基準に従った十分な整備とフリーアドレス化を図り、全教職員で学生のサポートをしていく体制としている。また、防災については、個々人の意識向上を図るための啓もう活動を活発化する必要がある。	
改善策	1号館・MCL校舎の防火管理者を中心に、年2回の防災訓練の実施。1回目は春季で事前告知、2回目は秋季にゲリラ的に実施し、有事に備えた本番さながらの訓練ができるよう取り組んでいく。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	健康・福祉分野に興味関心を抱く高校生が激減している状況。オープンキャンパスやHPでは職業理解、Instagramでは学生生活の様子を公開しているが苦戦を強いられている。	
改善策	本校の強みである「福祉の総合学校」で「多職種連携」を学ぶメリットを打ち出し、競合校との差別化を図る。介護分野は、志願者である母数を増やすべく盛岡市との連携を強化していく。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	—	
改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	法令等適切に遵守し、運営を行っている。個人情報保護については継続して教職員の意識向上を怠りなく徹底していく。	
改善策	第三者評価の実施に向け、継続して仕組み作りをグループ全体で構築していく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	社会貢献・地域貢献については、ボランティア活動や授業の一環として参加している。授業や実習のスケジュールの都合から、学科によってボランティア活動の頻度＝経験値に差が出ている。各種事業委託については、介護福祉学科・こども未来学科による離職者訓練等、継続受託している。	
改善策	人間力を高める活動として社会貢献・地域貢献・ボランティア活動を引き続き推奨する。さらに、長期休暇のボランティアも各所から出ているため、teamsにて全学生へ周知していく。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校関係者評価委員会、及び、教育課程編成委員会における提言を教育活動の改善につなげる仕組みは、教育の質の向上につながってきている。また、学生授業評価、ルーブリック評価を継続して行い、学生の状況をよりの確に把握し、満足度の高い教育活動が継続できている。

コロナが第5類感染症に落ちついたことをきっかけに、対面での活動が活発化してきている。社会貢献・地域貢献活動は、学生の経験値を上げ人間力を高める機会にもなるが、住民のニーズに合ったものであることや住民間で課題解決できるようなサポートとしていくことも念頭に置きながら活動継続していきたいと考える。

さらに、各課題への対応は、改良を重ね継続して改善を図っていく。

令和 5 年 6 月 30 日

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

令和 4 年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡医療福祉スポーツ専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を 6 月 22 日に実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見は指導等を真摯に受け止め、より良い教育より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和 4 年度 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

開催日：令和 5 年 6 月 22 日（木）15：00～16：00 於 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

1. 出席者

委員長	社会福祉法人 潤沢会	理事長	高橋 典成
副委員長	株式会社システムエイド	常務取締役	中舘 勝寿
外部委員	学校法人聖公会盛岡こひつじ学園 仁王幼稚園	園長	曾根 美砂
外部委員	公益財団法人 盛岡市スポーツ協会	事務局次長兼総務課長	山田 学
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	校長代理	佐々木 純子
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務課長	竹内 愛美
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務主任	山田 健太郎
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務	長谷川 江利子
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務	滝沢 淳子
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務	寺倉 直弥
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務	大富 和弘
委員	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	教務	西山 直輝
書記	盛岡医療福祉スポーツ専門学校	事務局	川原 裕子

2. 委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 状況報告（就職状況報告 ・ 教務関連報告）
- (4) 令和4年度自己点検・評価報告
- (5) 討議・意見交換
- (6) 閉会

3. 討議・意見交換について

令和4年度の就職実績、今年の入学者状況（昼間部・通信教育部）の報告、教育の質向上の取り組み、改善点について報告した。自己点検・評価結果について達成状況、改善策について報告しそれに対し外部委員の皆様から質疑応答、意見交換を行った。

(1) 教育理念・目標について

『学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など学生・保護者等に周知されているか』の項目について、「やや適切」から「適切」に評価を上げた点について改善策を報告した。外部委員より保護者、学生により簡単に確認できる方法として QR コードを活用した周知方法等の提案をいただいた。

(2) 学校運営について

『教育活動等に関する情報公開が適切になされているか』の項目について「ほぼ適切」から「適切」へと評価を上げた。Teams を活用し学生と教員との迅速な情報共有、コミュニケーションツールとして定着していることが評価につながった。

(3) 教育活動について

アンケートを取り授業内容を評価、リアクションペーパーの書式を変更し理解度を明確にできるようにしたことを報告し委員の方にご理解をいただいた。

(4) 学修成果について

『退学率の低減が図られているか』の項目について外部委員より評価項目内容を変更することで評価が上がるのではないかと提案があった。退学率3%以内とする目標を掲げ退学防止に努めていること、入学前から明確な目標と将来像を持って入学してくれるようにオープンキャンパス等で説明をしていることを報告した。

(5) 学生支援について

全体的な評価について変動なしと報告。卒後教育など今後も継続していくことを報告した。外部委員より県内就職率が高いことに評価をいただき卒業生との関わりを持ち継続的に支援してほしいとの意見が出された。

(6) 教育環境について

『学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備して

いるか』について、管轄する国、県へ実習施設を登録する等スムーズに実習へ行けるように学校で体制を整えていることやグループ校での海外研修としてハワイへ実習に行っていること等を報告した。

(7) 学生の受け入れ募集について

『学生募集活動は、適正に行われているか』について外部委員より説明が求められた。このことについて AO 入試が全国的に5月頃から行われているが本校では8月に行い適正な時期としていることを説明しご理解をいただいた。

(8) 財務

財務に関する自己点検・評価の結果に関して特に問題は無く、外部委員より了承をいただいた。

(9) 法令等の遵守について

『個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか』について対策内容として入学時に個人情報に関する承諾書を取り事前に SNS・Instagram・TikTok に映りたくない学生を確認。投稿前にも確認を徹底していることを報告した。

(10) 社会貢献・地域貢献について

評価結果に変更無く、活動について継続していくこととした。

7 まとめ・その他

外部委員よりおおむね評価をいただいたが、学校での学びの時間を無駄にすることなく心構えを持ち実習に臨んでもらいたいとの意見があった。

本校の卒業生が新人教員として加わり、卒業生の成長と共に充実した教育活動ができるのではと期待していること、今後ご指導いただきたい旨をお伝えして閉会とした。

以上